

# 第2部

## 基本構想

## 第1章 平群町のめざすまちづくり

### 1 平群町の将来像

人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり

～住民と共に築く、次世代へと繋がるサステナブルなまちへ～

#### ～ 将来像に込めた想い ～

「子どもから大人まで全ての住民がそれぞれの立場や分野で輝きを放っているまちにしたい」、「輝いている人たちが互いに刺激し合い、交流することで平群町の未来を輝かしいものにしたい」という想いを込めています。

また、様々な課題を乗り越えた先の輝かしい未来に向けて、取り組んでいくという想いを「夢あふれるまち」という言葉で表現しています。

行政だけでなく、住民・地域団体・民間事業者との協働により、持続可能なまちを創っていきたいという想いを込めています。

今後10年間を展望すると、更なる人口減少や少子高齢化の進展が見込まれ、国際活動や交流の活発化によるグローバル化の進展や情報通信技術の進歩、さらには新型コロナウイルスの世界的蔓延等、将来を予測することが極めて難しい時代を迎えており、更なる厳しい社会経済状況も見据え、将来にわたって持続可能な地域社会を構築していく必要があります。

第6次総合計画の策定にあたって実施したアンケート調査やまちづくり会議のなかでは、平群町の豊かな自然や歴史資源に対する愛着や誇りが再確認され、これらを平群町の貴重な資源として保全・活用しながら、次世代に継承していく取組が求められています。

また、人口減少や高齢化とともに、生き方の多様化が進むなかで、住民一人ひとりが自分の持つ能力を発揮できる場づくりを進め、誰もが安心して笑顔で住み続けられるまちづくりが求められています。

そのため、第6次総合計画では、「人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり ～住民と共に築く、次世代へと繋がるサステナブルなまちへ～」を将来像として、行政と住民が一体となって、子どもから高齢者まで全ての住民が活躍し、輝き続けているまちを目指します。

## 2 将来推計人口

本町では、2000（平成 12）年をピークに人口が減り続けています。

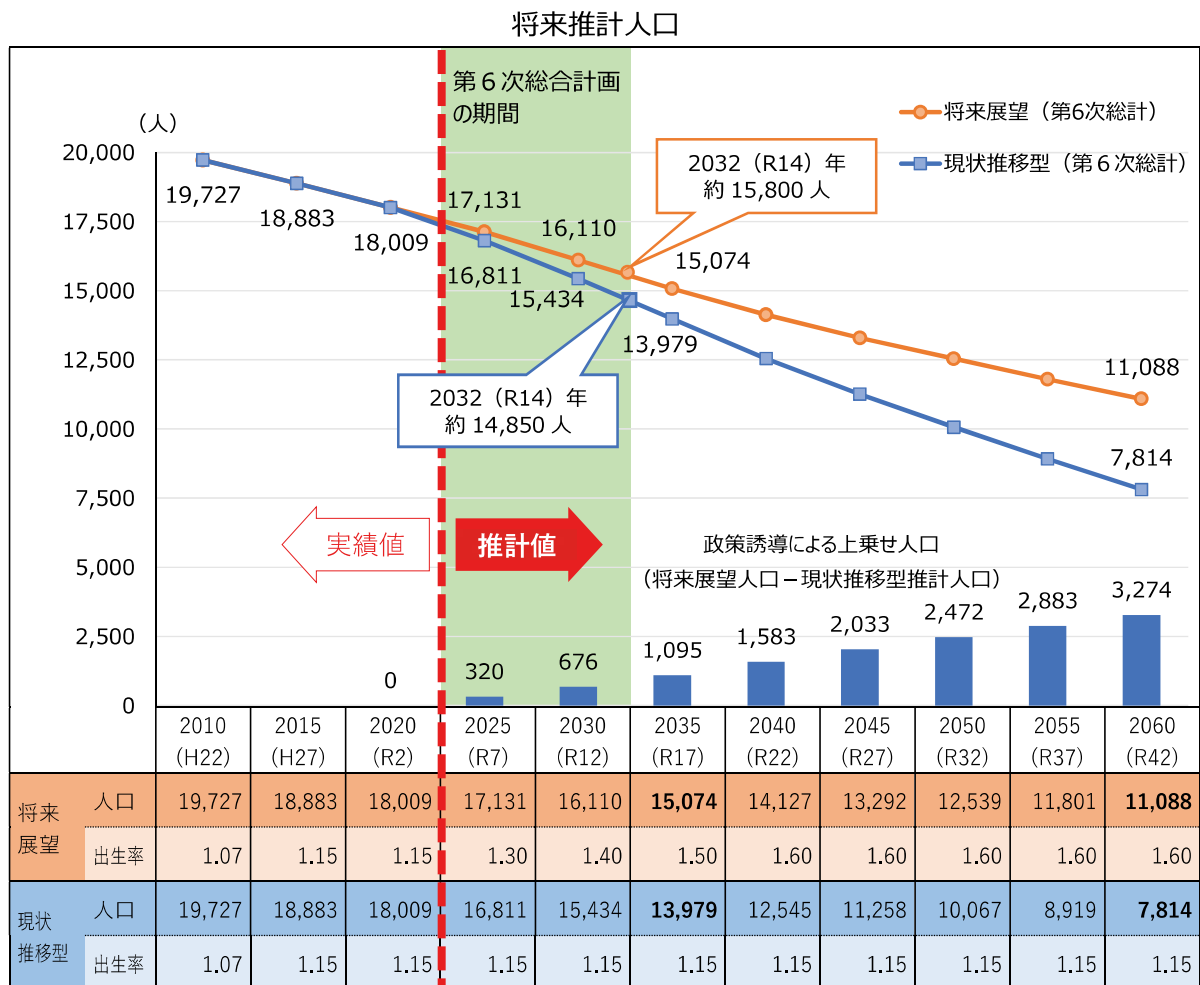
合計特殊出生率\*をみると、2008（平成 20）年～2012（平成 24）年の 1.07 から 2013（平成 25）年～2017（平成 29）年には 1.15 に上昇しました。

合計特殊出生率や移動率が同水準で推移すると仮定すると、第 6 次総合計画基本構想の終了年である 2032（令和 14）年には、町の人口は約 14,850 人になると推計されます。

本町の子育て世代について、国勢調査によると、子どものいる世帯割合は周辺市町と比較して高くなっているものの、世帯あたりの子どもの数は少なくなっており、まずは、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現に取り組むことで、出生率の上昇を図ることが重要となります。

また、今後増加が見込まれる空き家・空き地の有効活用を進めることで、出産・子育てを機に持ち家を希望する層の転入促進に取り組み、移動率の上昇を目指します。

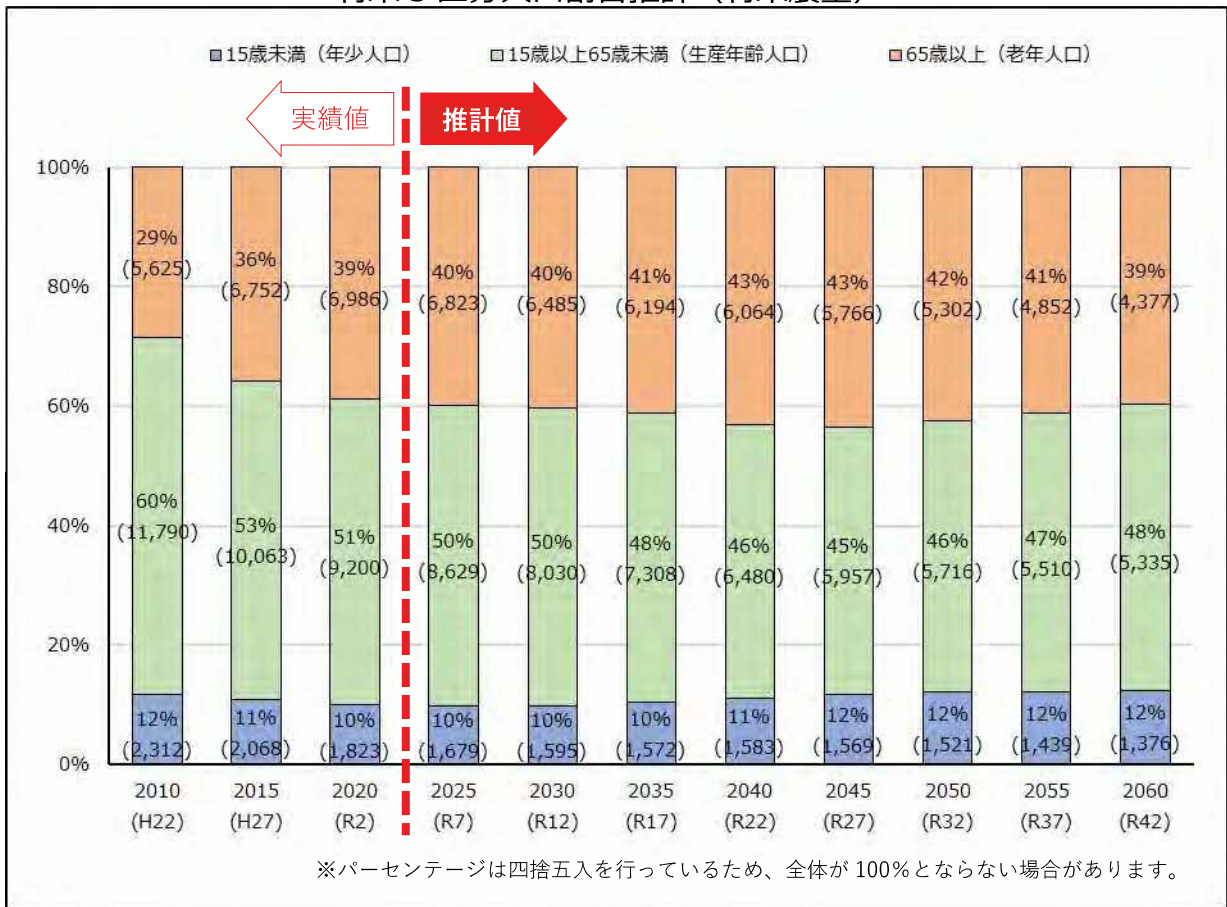
これらの取組を進めることで、将来展望人口として、2032（令和 14）年で約 15,800 人を見込みます。



現状推移型：合計特殊出生率と移動率を同水準で推移すると仮定した推計

将来展望：各種施策の実施による効果を踏まえた推計

将来3区分人口割合推計（将来展望）



## 将来推計人口（将来展望）の見通し

2032（令和14）年：15,800人

### 3 将来都市構造図

#### ■将来都市構造の考え方

今後の人口減少・少子高齢化等を背景として、若者からお年寄りまで全ての人々が暮らしやすく、環境負荷の少ないサステナブル\*な都市の形成を目指して、役割分担に応じた各拠点への機能集積、道路や公共交通の充実による連携の強化、公共施設等の再編を図り、コンパクトで機能性の高い都市構造を構築します。

#### ①拠点

##### ◇中心拠点

本町の中核を担う平群駅周辺を「中心拠点」と位置づけ、住宅・商業・福祉・子育て・交通・文化・交流・行政等、各種都市機能の集積、本町の玄関口にふさわしい景観形成等、その拠点性や魅力の向上を図ります。

また、中長期的な視野のもと、平群駅の東側における市街地のあり方についても検討します。

##### ◇生活拠点

竜田川駅・元山上口駅・東山駅周辺を「生活拠点」と位置づけ、日常生活の利便性の向上に資する都市機能や、快適で親しみやすい都市空間の創出を図ります。

特に、多くの住民が通勤・通学として利用し、本町の北の玄関口となっている東山駅周辺では、生駒市と連携を図りながら、住宅・商業・業務・交通等の機能を充実し、中心拠点を補完する拠点の形成を目指します。

##### ◇にぎわい拠点

平群駅から竜田川駅に至る国道 168 号バイパス沿道を「にぎわい拠点」と位置づけ、周辺の景観や環境に配慮しながら、多様な買い物ニーズに対応した商業施設や交流機能等、新たなニーズに対応した施設の立地を促進し、町全体の活性化へと繋げていきます。

##### ◇医療・福祉拠点

竜田川駅東側にあたる国道 168 号バイパス沿道を「医療・福祉拠点」と位置づけ、医療・福祉、子育て等の施設立地を促進し、今後の少子・高齢化に対応したやさしいまちづくりを展開します。

##### ◇工業拠点

国道 168 号バイパス沿道の上庄地区、既存の工場が立地する西宮地区周辺を「工業拠点」と位置づけます。

上庄地区では、無公害型の産業を誘致し、産業基盤の強化と雇用の場の確保を図ります。また、進出企業と既存企業の連携強化等を図り、町全体の産業振興へと繋げていきます。

## ②軸

## ◇主要骨格軸

国道 168 号バイパスや町道西山麓線等を主要骨格軸として位置づけ、円滑な交通処理を行うとともに、人や環境に配慮した整備や適正な維持管理により、広域的な連携の強化を図ります。

また、生活利便性や交流促進、災害対策等の観点から、(仮称)東西線及び(仮称)信貴山麓線を主要骨格軸として位置づけ、東西アクセスの向上及び道路ネットワークの代替性・多重性の確保に努めます。

## ③ゾーン

## ◇市街地ゾーン

若者等、新たな世帯の定住を含め、多様な世代の居住を誘導するため、ゆとりある良質な居住環境の維持・形成を行います。また、空き家の解消や都市基盤施設の適正な管理を行うことで安全で快適な住宅地の形成に努めます。

商業施設等の生活利便施設については、生活圏等に配慮した立地を推進します。

## ◇集落ゾーン

優良農地の維持と耕作放棄地の解消を行うことで、豊かな自然の保全に努めます。また、空き家等を活用した田園スタイルの暮らしのプロデュースや、道路や下水道等の都市基盤施設の適正な管理を行うことで田園環境を活かしたまちづくりを推進します。











## ◇自然環境保全・交流ゾーン

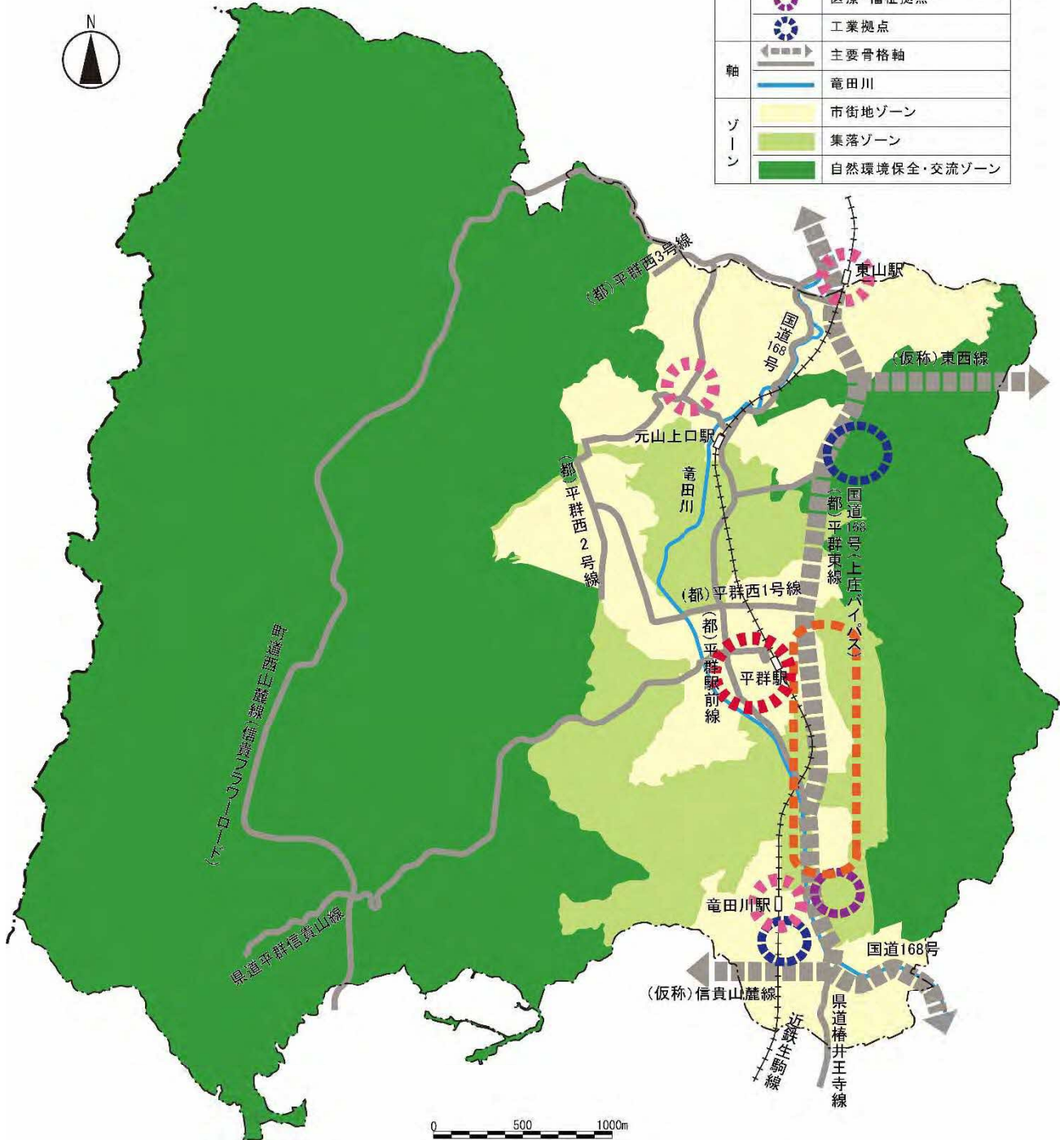
生駒山地や矢田丘陵については、各種法制度にもとづき、豊かで良質な自然環境の保全を図ります。その他暮らしに身近な里山について、農林業施策との連携に努めるとともに、地域住民や企業との協働による積極的な維持管理を推進します。また、観光・レクリエーション\*や環境教育の場等としての活用に努めます。

※将来都市構造は、平群町の将来像及びまちづくりの基本理念の実現に向けた「まちの骨格」を示すものであり、別途定める都市計画マスタープランにより、具体的なまちづくりを推進していきます。

※本計画では、2018（平成 30）年 3 月に策定した【改訂版】平群町都市計画マスタープランをもとに、将来都市構造図を記載しています。

<将来都市構造図>

| 凡 例   |   |              |
|-------|---|--------------|
| 拠 点   |  | 中心拠点         |
|       |  | 生活拠点         |
|       |  | にぎわい拠点       |
|       |  | 医療・福祉拠点      |
|       |  | 工業拠点         |
| 軸     |  | 主要骨格軸        |
|       |  | 竜田川          |
| ゾ ー ン |  | 市街地ゾーン       |
|       |  | 集落ゾーン        |
|       |  | 自然環境保全・交流ゾーン |



## 4 基本理念

第5次総合計画では、『緑豊かで心豊かな 子どもの歓声がきこえるまち』の将来像のもと、以下の4つの基本理念を柱にまちづくりに取り組みました。

- 理念① 平群谷の豊かな緑に包まれて暮らすまち平群
- 理念② 地域資源が産業の活性と未来の希望をつなぐまち平群
- 理念③ 子どもの歓声がきこえ、住み続けたいと実感できるまち平群
- 理念④ 人と人がつながる心豊かなまち平群

第6次総合計画では、第5次総合計画の理念にもとづくまちづくりの取組を引き継ぎつつ、新たな将来像である『人が輝き、未来が輝く、夢あふれるまち へぐり』をもとに基本理念を設定します。

### 理念① 子どもの笑顔あふれる誰もが住みたくなるまちをつくる

国や県よりも早いペースで少子高齢化が進行している現状を踏まえ、人口減少を食い止める施策が急務になっています。特に子育てをしたいと考える・現在子育て中である若い世代をはじめ多くの人にとって、町外の人には移住定住したい、町内の人には平群で子育てをしたいと思われるまちを実現します。

### 理念② 自然と人に優しく住み続けられるまちをつくる

平群谷の豊かな緑やまちにうるおいをもたらす竜田川等、自然豊かな住環境は将来にわたり守るべき本町の魅力のひとつです。また、町内には様々な団体が活発に活動している現状があり、住民同士の助け合い体制や各々の活躍の場が形成されています。

少子高齢化が進行するなかでも魅力や暮らしやすさを担保する要因の維持に努めるとともに、住民の働き方・暮らし方の多様化によりニーズ（求めるもの）も多様化している状況を踏まえ、本町が住民にとって住み続けたいまちになるよう、多方面から住民の暮らしを支えるための施策に取り組みます。

### 理念③ 未来に向けて豊かに暮らせるまちをつくる

継続する厳しい町財政のなか、従来型のサービス展開や他の自治体との横並びでの施策運営では、健全な行政運営を実現し、まちの未来を形成するのは難しいと考えます。

豊かな暮らしの実現のため、住民のニーズを的確に把握し選択と集中による施策運営を行います。また、住民との協働による地域力の向上に向けた連携体制の構築や産学官連携により、持続可能なまちの実現に向け、取り組みます。



## 5 施策分類

基本理念をもとに施策をより効果的に展開していくため、実施する施策を「住みたい・住み続けたいまちになるための施策」、「住民の暮らしを支える施策」、「持続可能なまちを目指す施策」の3つに分類して取り組みます。

### ■住みたい・住み続けたいまちになるための施策

⇒人口減少に歯止めをかけるべく、本計画期間中に特に力を入れる施策

### ■住民の暮らしを支える施策

⇒住民がより良い暮らしをするための施策

### ■持続可能なまちを目指す施策

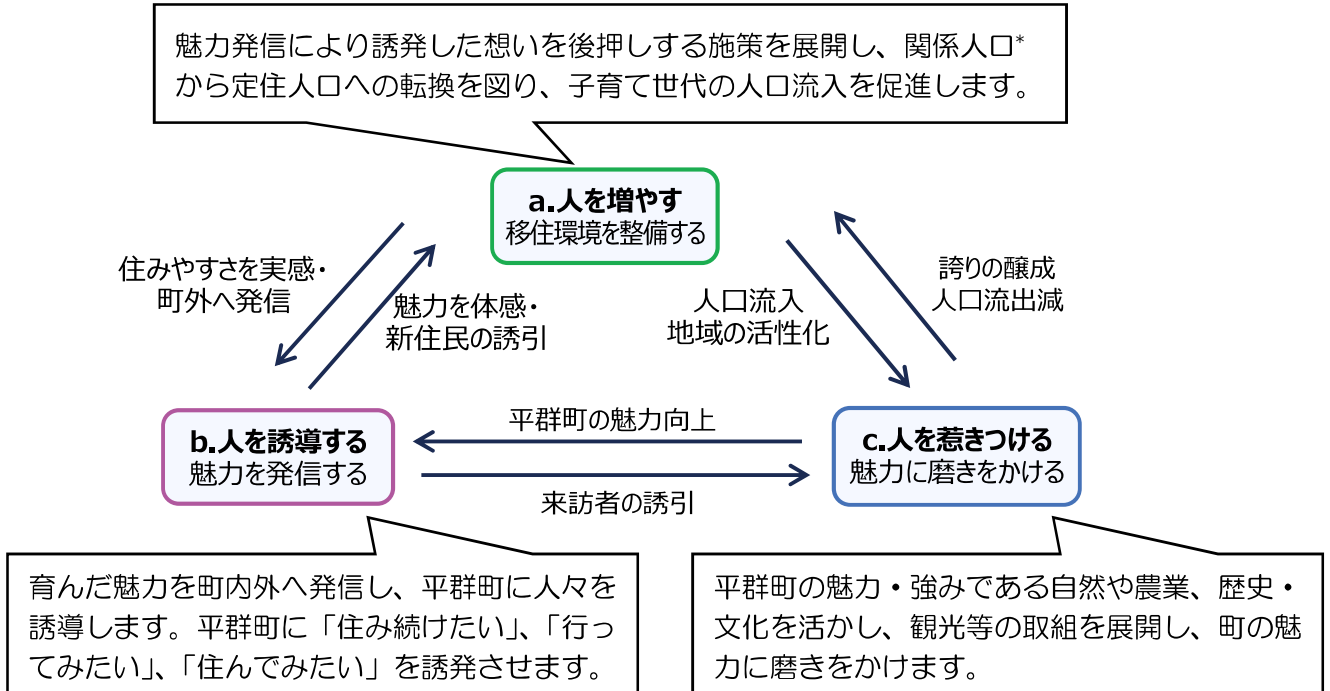
⇒自治体として存続し続けるための施策

第5次総合計画の期間下では、町の発展を支えてきた団塊の世代\*が定年退職期を迎え、税収が低下し、高齢化等に伴う社会保障費が増加しました。また、逼迫した財政状況のなか、子育て支援策を強化してきたものの、出生率の低下と若者流出に歯止めが利かず、人口減少が進みました。

そのため、第6次総合計画では、この現状を断ち切り、好循環を生み出す必要があります。その際に重要となるのが、人口の年齢構成のバランスを正すことであり、出生率の向上と子育て世代の移住・定住促進を図る必要があります。

そこで、「住みたい・住み続けたいまちになるための施策」に3つのまちづくり戦略を設け、戦略的に施策を展開します。

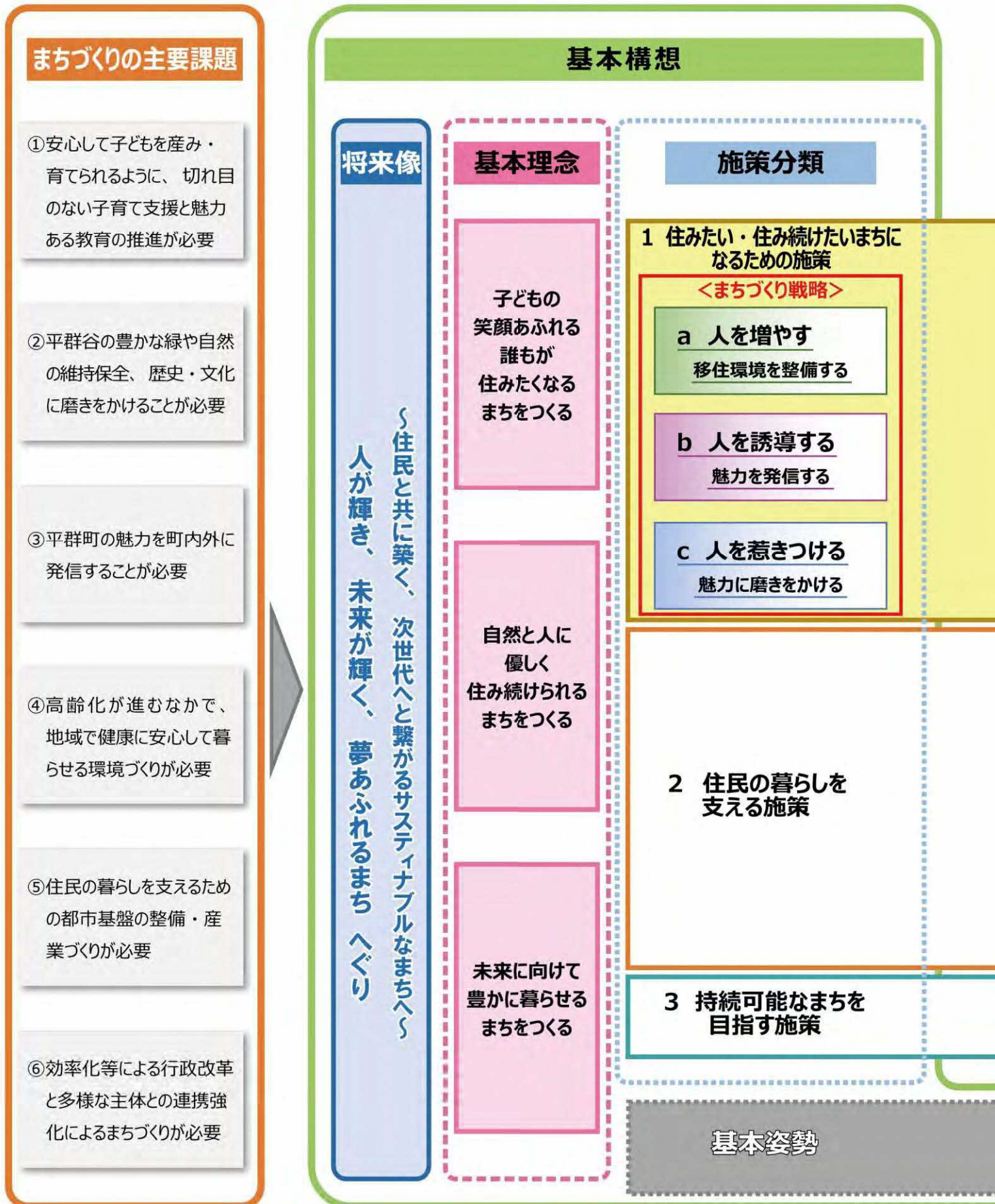
### ■3つのまちづくり戦略



## 6 基本姿勢

本計画は住民等との「役割分担」を推進し、「協働」により進める必要があります。また、「優先順位づけ」、「選択と集中」を徹底し、次世代に負担を残さないよう「財政健全化」を図る必要があります。そのため、「協働」と「財政健全化」を基本姿勢として各施策に取り組みます。

## 第2章 施策体系図



## 前期基本計画

### 施策

|                                | 分野            | 地方に仕事をつくる | 人の流れをつくる | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる | 魅力的な地域をつくる | デジタルの力を活用した取組を展開する |
|--------------------------------|---------------|-----------|----------|-------------------|------------|--------------------|
| a-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進   | 子育て支援         |           |          | ◎                 |            | ○                  |
| a-2 未来を創り、未来を担う子どもたちを育成する学びの推進 | 学校教育          |           |          | ◎                 | ○          | ○                  |
| a-3 地域を豊かにするための企業誘致と産業振興の推進    | 商工業           | ◎         | ○        | ○                 |            | ○                  |
| a-4 移住・定住の促進と良好な住環境づくり         | 住環境           |           | ◎        |                   |            | ○                  |
| b-1 町内外への豊かで魅力のある情報発信の推進       | 情報発信          |           | ○        |                   |            | ○                  |
| c-1 緑豊かな自然を守り、育て、繋ぐ取組の推進       | 環境保全          |           |          |                   | ○          | ○                  |
| c-2 持続的で安定した農業経営に向けた取組の推進      | 農業            | ◎         |          |                   |            | ○                  |
| c-3 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光振興の推進    | 観光            |           | ◎        |                   |            | ○                  |
| 2-1 災害に強いまちづくりと防災コミュニティの形成     | 消防・防災         |           |          |                   | ◎          | ○                  |
| 2-2 安全・安心に暮らせるまちづくりの確立         | 安全安心          |           |          |                   | ○          | ○                  |
| 2-3 住民の生活を支える公共交通の維持           | 公共交通          |           |          |                   | ◎          | ○                  |
| 2-4 快適な生活を支える都市基盤の整備           | 土地利用・都市施設     |           |          |                   | ○          | ○                  |
| 2-5 環境負荷の少ない暮らしの推進             | 循環型社会         |           |          |                   | ○          | ○                  |
| 2-6 健康で安心して住み続けられる保健医療体制の充実    | 健康            |           |          |                   | ◎          | ○                  |
| 2-7 地域で支え合い、安心して暮らすための福祉施策の充実  | 福祉            |           |          |                   | ◎          | ○                  |
| 2-8 多様性を重んじるコミュニティの形成          | 人権・平和・多様性     |           |          | ○                 |            | ○                  |
| 2-9 住民の生きがいづくりとなる生涯学習・文化活動の推進  | 生涯学習・文化財      |           |          |                   | ○          | ○                  |
| 3-1 住民協働による共に支えあう地域づくり         | 住民協働・地域コミュニティ |           |          |                   | ○          | ○                  |
| 3-2 健全で効率的かつ柔軟で機動的な行財政運営       | 行財政運営         |           |          |                   | ○          | ○                  |

### デジタル田園都市国家構想の実現に向けた まち・ひと・しごと創生総合戦略

| 地方に仕事をつくる | 人の流れをつくる | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる | 魅力的な地域をつくる | デジタルの力を活用した取組を展開する |
|-----------|----------|-------------------|------------|--------------------|
|           |          | ◎                 |            | ○                  |
|           |          | ◎                 | ○          | ○                  |
| ◎         | ○        | ○                 |            | ○                  |
|           | ◎        |                   |            | ○                  |
|           | ○        |                   |            | ○                  |
|           |          |                   | ○          | ○                  |
| ◎         |          |                   |            | ○                  |
|           | ◎        |                   |            | ○                  |
|           |          |                   | ◎          | ○                  |
|           |          |                   | ○          | ○                  |
|           |          |                   | ◎          | ○                  |
|           |          | ○                 |            | ○                  |
|           |          |                   | ○          | ○                  |
|           |          |                   | ○          | ○                  |
|           |          |                   | ○          | ○                  |

◎主要施策、○関連施策

【協働】






住民等との  
「役割分担」の推進

【財政健全化】













「優先順位づけ」、  
「選択と集中」の徹底

### 第3章 前期基本計画とSDG sの関係性

SDG sの理念は、持続可能なまちづくりを目指す平群町においても重要な視点であることから、将来像を実現するにあたってSDG sの達成も並行しながら取り組む必要があります。前期基本計画における19施策とSDG sの17ゴールとの関係性は下表のとおりです。

|                             |                               |                                | 1<br>貧困をなくそう   | 2<br>飢餓をゼロに   | 3<br>健康と福祉を<br>すべての人に   | 4<br>質の高い教育を<br>みんなに  | 5<br>ジェンダー平等を<br>実現しよう  |
|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--|---|---|---|---|
|                             |                               |                                |  |  |  |  |  |
| 1. 住みたい・住み続けたいまちになるための施策    | a. 人を増やす                      | a-1 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりの推進   | ●  | ●   | ●   |   | ●   |
|                             |                               | a-2 未来を創り、未来を担う子どもたちを育成する学びの推進 | ●  |   |   | ●   |   |
|                             |                               | a-3 地域を豊かにするための企業誘致と産業振興の推進    |  |   |   |   |   |
|                             |                               | a-4 移住・定住の推進と良好な住環境づくり         |  |   |   |   |   |
|                             | b. 人を誘導する                     | b-1 町内外への豊かで魅力のある情報発信の推進       |  |   |   |   |   |
|                             | c. 人を惹きつける                    | c-1 緑豊かな自然を守り、育て、繋ぐ取組の推進       |  |   |   |   |   |
|                             |                               | c-2 持続的で安定した農業経営に向けた取組の推進      |  | ●   |   |   |   |
| c-3 豊かな歴史資源や特産品を活かした観光振興の推進 |                               |                                |  |   |   |   |   |
| 2. 住民の暮らしを支える施策             | 2-1 災害に強いまちづくりと防災コミュニティの形成    |                                |  |   |   |   |   |
|                             | 2-2 安全・安心に暮らせるまちづくりの確立        | ●                              |  | ●   |   |   |   |
|                             | 2-3 住民の生活を支える公共交通の維持          |                                |  |   |   |   |   |
|                             | 2-4 快適な生活を支える都市基盤の整備          |                                |  |   |   |   |   |
|                             | 2-5 環境負荷の少ない暮らしの推進            |                                |  |   |   |   |   |
|                             | 2-6 健康で安心して住み続けられる保健医療体制の充実   | ●                              | ●  | ●   |   |   |   |
|                             | 2-7 地域で支え合い、安心して暮らすための福祉施策の充実 | ●                              | ●  | ●   |   |   |   |
|                             | 2-8 多様性を重んじるコミュニティの形成         | ●                              |  |   | ●   | ●   |   |
|                             | 2-9 住民の生きがいづくりとなる生涯学習・文化活動の推進 |                                |  |   | ●   |   |   |
| 3. 持続可能なまちを目指す施策            | 3-1 住民協働による共に支え合う地域づくり        |                                |  |   |   | ●   |   |
|                             | 3-2 健全で効率的かつ柔軟で機動的な行財政運営      | ●                              | ●  | ●   | ●   | ●   | ●   |

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

| 6  | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 13  | 14   | 15  | 16  | 17  |
|--|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|
| 安全な水と<br>トイレを世界中に  | エネルギーをみんなに<br>そしてクリーンに  | 働きがいも<br>経済成長も  | 産業と技術革新の<br>基盤をつくろう   | 人や国の<br>不平等をなくそう  | 住み続けられる<br>まちづくりを   | つくる責任<br>つかう責任  | 気候変動に<br>具体的な対策を  | 海の豊かさを<br>守ろう  | 陸の豊かさも<br>守ろう   | 平和と公正を<br>すべての人に  | パートナーシップで<br>目標を達成しよう   |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |   |   |   | ●   |   |   |   |  |   | ●   | ●   |
|  |   | ●   |   | ●   | ●   |   |   |  |   | ●   | ●   |
|  |   | ●   | ●   |   |   | ●   |   |  |   |   | ●   |
|  |   |   | ●   | ●   | ●   |   |   |  | ●   | ●   | ●   |
| ●  |   |   |   |   | ●   | ●   | ●   | ●  | ●   |   | ●   |
|  |   | ●   | ●   |   |   | ●   |   |  | ●   |   | ●   |
|  |   |   | ●   |   | ●   | ●   |   |  |   |   | ●   |
|  |   |   |   |   | ●   |   | ●   |  |   |   | ●   |
| ●  |   |   | ●   | ●   | ●   |   |   | ●  | ●   |   | ●   |
| ●  | ●   |   |   |   | ●   | ●   | ●   | ●  | ●   |   | ●   |
|  |   |   |   |   |   |   |   |  |   | ●   | ●   |
|  |   | ●   |   | ●   | ●   |   |   |  |   |   | ●   |
|  |   | ●   |   | ●   |   |   |   |  |   | ●   | ●   |
|  |   |   |   |   | ●   |   |   |  |   | ●   | ●   |
|  |   |   |   | ●   | ●   |   |   |  |   | ●   | ●   |
| ●  | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●   | ●  | ●   | ●   | ●   |

